

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画にご本人やご家族の意向や思いを記載する欄がない。それがないと介護計画の方向性がに根拠がないものとなる。	本プランとは別に、ご本人とご家族の思いを記載できる生活援助計画第一表を作成する。	生活援助計画の第一表を新たに作成した。意思が伝えられる入居者には直接お聞きし、ご家族には、日々の面会時などに、ご意向をお聞きし、介護計画開示時に、ご家族に確認して頂いている。	6ヶ月
2	35	災害時に向けた備蓄が不十分である。	他法人のグループホームなどから情報収集を行い、グループホームで必要な備蓄のリストを作成する。	備蓄リストをもとに、必要物品をそろえていく。	6ヶ月
3	2	日々地域と交流に努めているが、さらなる交流の輪が必要である。	近所の方を招いたお茶会を実施したり、認知症サポータ講座の開催など、新たに地域の方々と交流できるイベントを企画し、実施する。	町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員などに相談し、新たな取り組みへの協力を依頼し、実施に向けて、企画を固めていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。